

# 令和4年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 第1学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<p>【知識・技能】</p> <p>1学期の達成率は、77%であった。一方で「言語事項」について正しく理解できていない児童が1割程度いる。字形が整っていなかったり、促音や拗音、長音、「は・を・へ」を正しく表記できなかったり、濁点や半濁点の位置を正しく理解できていなかったりすることに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で言語事項の習熟に取り組む。例えば、言葉集めをしてノートに書く、プリントでの習熟など楽しみながら発音と表記の関係を確認し、語彙を増やしていく。作文や日記などで書いた文章を読み返す習慣を身に付けさせる。</li> <li>書写の時間をはじめ、普段から字を丁寧に書けるように指導していく。そのために、筆順や字形などを意識させ、繰り返し指導をしていく。</li> </ul>
算数	<p>【知識・技能】</p> <p>1学期の達成率は、92%であった。今後は10までの数の構成の理解を定着させ、加法や減法を正確に行うことができるようにしていくことが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加法・減法において、計算ブロックを正しく操作し、10までの数の構成の理解を定着させる。また、文章題では、文章の中の重要な言葉を見付けさせ、立式した理由や考えを整理しながら、答えを出すことができるようにする。</li> </ul>
生活	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>アサガオの観察や世話に進んで取り組む児童が多く、アサガオの成長や様子に着目したり、アサガオの立場に立って関わり方を考えたりしながら、世話をする事ができた。一方で、観察の仕方や気付いたことを基に考え、何かに例えたり以前の様子や友達のアサガオの様子と比べたりしながら成長の様子を観察カードに表現することを指導してきたが、絵や言葉での表現に苦慮する児童もおり、個人差が大きい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の児童の観察カードや教員の手本を例示し、よりよい観察の視点を与えたり、グループで観察する時間を設けてお互いに気付きを話したりする活動を行う。友達の気付きやよさを知ったり、表現方法に幅広くふれたりすることで、絵や言葉で様々な表現ができるようにする。</li> </ul>
体育	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>縄跳びやフラフープを使いながら、様々な動きに取り組み、楽しく運動することや、新しい動きを発見することができた。友達と交流をしながら動きの幅を広げていくことは今後の課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア活動やチームでの活動を取り入れ、よい動きをしている友達を見付け、動きの幅を広げていく。</li> <li>走る際の姿勢や目線、真っ直ぐに走ることなど、ポイントを丁寧に指導し、意識付けをする。またICT機器を用いながら、自分の動きを客観視し、改善につなげる。</li> <li>学習カードを活用しながら、個人やチームのめあてを立てたり、振り返りをしたりすることができるようにする。</li> </ul>